

世界のISO認証件数が発表

ISO(国際標準化機構)中央事務局は、世界のISOマネジメントシステム規格の認証件数について集計・調査した“ISO Survey 2018”を公表しました。これは、2018年末時点でのISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO27001(情報セキュリティ)、ISO22000(食品産業)、ISO45001(労働安全衛生)、ISO13485(医療産業)、ISO50001(エネルギー)、ISO22301(事業継続)、ISO20000-1(ITサービス)、ISO28000(サプライチェーンセキュリティ)、ISO39001(道路交通安全)、ISO37001(贈収賄防止)の認証件数について集計されたもので、今回ISO45001とISO37001の2規格が追加され調査対象は12規格となりました。

今回より従来の認証数に加え、認証サイト数も集計されるようになり、規格別認証サイト数では、ISO9001は1,180,965件で、国別では日本は4位の68,508件でした。ISO14001の認証サイト件数は447,547件で、日本は2位となっています。その他、ISO27001は12,145件で日本は1位、ISO22000は1,710件で4位。

また、ISO45001は191件で、OHSAS18001からの移行途中のため数字が伸びていないものと思われます。この調査の詳細についてはISOのホームページをご覧ください。
(<https://www.iso.org/the-iso-survey.html>)

ISO事業開始から25年

弊社が日本でのISO認証業務を開始してから昨年11月で25年となりました。また、昨年は公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)より公表されました2019年3月末時点の認証組織件数において、ISO9001品質マネジメントシステムの認証組織件数で弊社が1位となりました。これもひとえに1万社を超えるお客様をはじめ、規格の普及と発展に貢献していただいています多くのご関係者の方々のおかげに他なりません。これまでのご支援・ご高配に対し、社員一同心より感謝申し上げます。

これからまた次の10年、20年と、皆様のマネジメントシステムの理想的なパートナーとして皆様と共に歩んでまいりたいと思っております。引き続きよろしく願い申し上げます。

地域社会奉仕活動

東京都では、ボランティア活動に関して継続的、先進的な取組みを行っている企業・団体に「共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」を贈呈しており、中央区環境保全ネットワーク様が、今年度の「特別賞」を受賞されました。子供や地域住民を対象に、環境問題への理解を深め、環境に配慮した行動を身につける体験型環境学習イベント「子どもとためす環境まつり」の継続的な実施などの取組みが評価されたもので、弊社では地域社会貢献活動の一環として、同じ中央区にある東京事務所のスタッフを中心にこのイベントのお手伝いを過去10年間にわたりさせていただいております。

今回の受賞にちなみ、同ネットワーク様では、支援・協力者へ感謝状を贈られており、今年16回目の開催が無事に終了したタイミングで弊社も感謝状をいただきました。今後も引き続きこのような地域社会に貢献できる活動を継続的に行ってまいります。

Q&A

お客様からいただきましたご質問についてご紹介いたします。

Question

ISO9001、ISO14001、OHSAS18001の3規格を認証取得しています。近年中にOHSAS18001がISO45001に変わると聞きました。今年は維持(サーベイランス)審査なので、来年の再認証審査時まで、ISO45001への取り組みをしたいと思っています。何か注意点はありますか？

Answer

2018年3月12日に、ISO45001:2018が発行され、OHSAS18001はISO45001へ切り替わります。移行期限(発行後3年以内)までに、ISO45001:2018への認証移行を完了いただく必要があります。移行審査は、通常、定期審査(サーベイランス審査・再認証審査)のタイミングに合わせて同時に実施します。ISO45001への移行が完了したら、従来の有効期限が引き継がれます。

現在、弊社で認証いただいているお客様の内、約4割がまだ認証移行されていません。弊社では、スムーズな移行の手続きのため、2020年9月頃までに移行審査を受審されることをお勧めしており、ご質問いただいた来年の再認証審査では間に合いません。弊社がお勧めしている移行期限までに定期審査がすでに終了しているなどタイミングが合わない場合などは、移行審査のみを単独で受審いただく必要がありますが、審査工数も余計に掛かりますので、計画的に進めていただいて、定期審査の中で移行されることをお勧めします。

また、貴社は、3規格を認証取得されているとのことですので、ISO9001、ISO14001の2015年版への移行で、すでにISO規格の共通仕様を定めた附属書SLが適用されていると思います。ISO45001:2018は、ISO9001・ISO14001:2015と同様に附属書SLに従ったものとなりますので、認証移行にも、それほど抵抗感なく、取り組んでいただけるとと思います。

弊社が推奨する受審期限直前(2020年9月頃)は、審査が混み合うことが予想されるため、余裕を持って受審いただくためにも、お早めのご準備をお願いいたします。弊社ホームページにISO45001:2018移行審査に関する特設ページを設けておりますので、ご参照ください。
(<https://ba.intertek-jpn.com/shift-iso45001/>)

受審時期のご相談も含め、ご不明な点等ございましたら、弊社各地区営業担当、営業部、また東京事務所OHSAS認証部までお気軽にお問い合わせください。

※移行期限を過ぎますと、OHSAS18001は、認証失効しますので、ご注意ください。